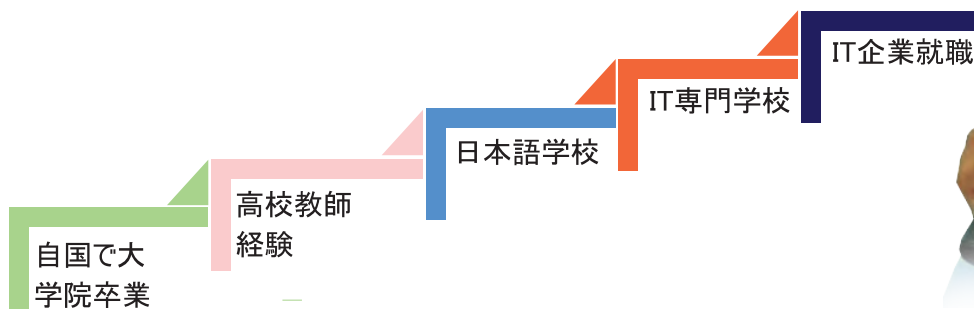


資格を取ることが大事!

ラジェンドラ ポーデルさん (ネパール)



私の出身地はネパールのカピルヴァスツ郡です。大学院卒業後、高校教師として一年半ネパール語、文法、文学等を生徒に教えました。ネパールは民族によって言葉が違うので教えるのに難しいこともありましたが、私は他の民族の言葉を勉強し間違えやすい発音を見つけて教える等、積極的に異文化を理解するために努力しました。

その後、2011年12月に留学生として来日しました。日本語学校で1年3か月間勉強した後、専門学校でWebデザイン（ホームページ作成）と日本語、ビジネスマナーを学び、JESC認定コミュニケーションスキルアップ検定、JLPTN2等を取得しました。ネパール人留学生による日本語弁論大会に参加して3位入賞をしたこともあります。

2016年5月に日本のIT企業に入社して現在も働いています。学校に通いながらアルバイトもしましたので辛いことと楽しいことも数え切れないほどあります。学生時代には、勉強は勿論ですがアルバイトと健康管理のバランスをとることも大事です。失敗を恐れず、何があっても負けないで皆で協力をして頑張ること、一度きりの人生を大切に歩むこと、どこへ行っても自分と自分の夢を信じるのが一番大事だと思います。

日本に来たばかりの皆さんに最初にお伝えしたいことは、「自分がやりたいことと、できること」を決めて、まずは「できること」から始めましょうということです。日本学生支援機構（JASSO）の調査によると、2016年に来日したネパール人留学生は19,471人で、中国、ベトナムに次いで3番目に多く、前年度から19.8%も増加しています。就職活動は、ネパールでは学校卒業後に行うことが多いですが、日本は在学中に就職活動をして、できるだけ学校卒業前に就職が決まるようにします。就職のためには、日本では事前準備をしっかりとしなければなりません。

就職活動では、履歴書を書き、面接に行く前に会社情報を集め、志望動機を話せるようにしなければいけません。面接は自分のすべての知識を伝えるところではありません。大体4分以内にアピールをすることが大事です。自分の強みをアピールするためには、資格を取得する必要があります。資格があれば評価が上がり合格しやすくなります。JLPT/TOEIC/MOSの資格は基本なので、頑張って取得してください。他にもITIL：Information Technology e Infrastructure Library、CCNA：Cisco Certified Network Associateなどが有用です。

日本の企業が外国人を採用するときは、仕事ができるかどうかはもちろんですが、勤務時間を守れるか、自分で健康管理ができるか、チームで協力できるかどうかなどを大事にします。

最後に、日本語をしっかり勉強してほしいです。そのためには、スピーチコンテストなどに参加する、グループを作って勉強会をする、日本人の友達を作って日本語の勉強をしたり、日本文化を理解するためにコミュニケーションをレベルアップするとよいと思います。

<<参加者の感想>>

1. 私は日本に来て3年目になります。この講演を聞いて、日本でどのようにしたら成功できるのか、そのためにどのような努力をしたらよいのか、ということについて学びました。話を聞いて、私はまだ何もできていないからもっと頑張らなければいけないと思いました。このようなセミナーを企画して下さりありがとうございました。
2. 私は日本に来て2年です。神奈川経済専門学校的一年生です。私は卒業したら、大学に行くべきか就職すべきか迷っているので、この説明会に来て、何をすべきかということが少し分かりました。本当にありがとうございました。
3. 私も神奈川経済専門学校的一年生です。私も同じように、大学に行くべきか就職すべきか迷っているので、この説明会のお話はとてもためになりました。
4. これまで、何をすべきか、どこに行ったらよいのか、就職すべきかということについて、考える機会がなかったので、この説明会に来て少し考えることができました。本当にありがとうございました。